

2021年10月29日

各位

三井住友信託銀行株式会社  
三井住友トラスト・パナソニックファイナンス株式会社

### 三井住友信託銀行における再生可能エネルギー電力の調達開始について

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、関西地区の2支店(京都支店、姫路支店)において、オフサイト・コーポレート PPA<sup>※1</sup>の仕組みを活用し、太陽光発電所からの電力を株式会社 UPDATER から調達することといたしました。

三井住友トラスト・グループでは、「三井住友トラスト・グループ カーボンニュートラル宣言」<sup>※2</sup>を公表し、その中で2030年までに自社グループの温室効果ガス排出量をネットゼロとすることを目指しています。グループの拠点ビル・店舗の使用電力に起因するCO<sub>2</sub>排出量の削減を図るため、再生可能エネルギー電力への切替を進めるほか、太陽光発電所で生成する再生可能エネルギー電力の調達に加え、非化石証書<sup>※3</sup>を使用した電力を調達することによる店舗の電力のネットゼロを目指しています。今回、当該太陽光発電所から調達する電力は、両支店の年間使用電力の約40%にあたり、年間約75トンのCO<sub>2</sub>排出量削減となる見込みです。

また、三井住友トラスト・グループは、脱炭素社会の実現に貢献するために、国内の再生可能エネルギー電源を増やす、追加性<sup>※4</sup>を重視した取組を強化しています。

今般、その一環として、株式会社 UPDATER に対して、「SuMi TRUST イノベーションファンド<sup>※5</sup>」を通じた当社の出資に加えて、三井住友トラスト・パナソニックファイナンス株式会社(取締役社長:西野 敏哉)がリースを提供することとしました。今後、RE100<sup>※6</sup>、SBT<sup>※7</sup>等を目指す環境先進的な電力需要家のお客様へ、再生可能エネルギーを供給するために必要なサービス提供体制を確立していきます。

当社は、三井住友トラスト・グループのカーボンニュートラル宣言を踏まえ、再生可能エネルギーの普及拡大を目指し、SDGs、パリ協定の目標達成に貢献してまいります。

以上

#### ※1 コーポレート PPA

コーポレート PPA（電力購入契約:Power Purchase Agreement）は、需要家が発電事業者から再生可能エネルギーの電力を長期に購入する契約です。本件のケースは、遠隔地の発電設備から送配電網を介して需要家である三井住友信託銀行の店舗ビルへ送電するオフサイト型の PPA モデルです。

#### ※2 三井住友トラスト・グループ カーボンニュートラル宣言

(<https://www.smtb.jp/-/media/tb/about/corporate/release/pdf/211020-2.pdf>)

- ① 信託銀行グループのもつ多彩で柔軟な機能を活用して、脱炭素社会の実現に貢献します
- ② 投融資ポートフォリオのGHG排出量について、2050年までにネットゼロを目指します  
2050年ネットゼロを達成するための2030年までの中間目標について、Net Zero Banking Allianceの枠組みに即し、2022年度中に作成します。
- ③ 自社グループのGHG排出量を、2030年までにネットゼロにします。

#### ※3 非化石証書

非化石証書とは、発電設備に関する属性情報がトラッキングされており、CO<sub>2</sub> を排出しない電源の電気から環境価値を切り離して証書化したものです。再生可能エネルギー電源の電力と非化石証書を組み合わせて調達することにより、実質的に 100%再生可能エネルギーを実現します。

#### ※4 追加性

再生可能エネルギーの発電設備を建設、あるいは建設プロジェクトに関与して、発電した電力を利用することをいい、再生可能エネルギーの導入量を拡大する効果があることを指します。

#### ※5 SuMi TRUST イノベーションファンド

三井住友信託銀行株式会社と SBI インベストメント株式会社(代表取締役執行役員社長:川島 克哉)と共同で設立したプライベートファンドです。

#### ※6 RE100

事業を 100%再生可能エネルギー電力で賄うことを目標とする取り組みのことです。

#### ※7 SBT (Science Based Target)

世界の気温上昇を産業革命前より 2°Cを十分に下回る水準に抑え、また、1.5°Cに抑えることを目指すパリ協定の水準と整合した、5年～15年先を目標年として企業が設定する、温室効果ガス排出削減目標のことです。

(資料)

## 1. 案件概要

発電所名	杉池太陽光発電所
所在地	奈良県大和郡山市杉町 283-1
発電出力	853kW
最大受電電力	625 kW
年間想定発電量	1,014,777 kWh
標準電圧	6.6kV

当該太陽光発電所から調達した電力は、関西地区の2支店が入居するビルの他のテナント様にも供給する予定です。

## 2. 出資概要

### 【会社概要】

名称	株式会社 UPDATER(旧:みんな電力株式会社)
所在地	東京都世田谷区三軒茶屋 2-11-22 サンタワーズセンタービル 8F
事業概要	<ul style="list-style-type: none"><li>再生可能エネルギー事業「みんな電力」(電力小売事業、再エネ発電所の開発・販売・メンテナンス、地域新電力コンサルティング事業等)</li><li>空気環境対策事業「みんなエアー」</li><li>オウンドメディア「TADORi」等</li></ul>
設立年月	2011年5月
資本金	13億498万円(資本準備金 20億3,918万円) ※2021年9月30日現在
ホームページ	<a href="https://minden.co.jp/">https://minden.co.jp/</a>

### 【主な出資目的】

株式会社 UPDATER が提供する電力小売りサービスは、業界トップクラスの FIT 電気(再エネ)比率を誇っており、当社および当社顧客における脱炭素への取り組み推進に貢献できると考えたため、出資を決定いたしました。